

金沢大学 経済学類

2015年度 ゼミナール大会 プログラム

日時：12月4日（金）

午前の部 … 10:00 ~ 12:00

午後の部 … 13:00 ~ 15:00（第5分科会のみ 13:00 ~ 16:00）

場所：人間社会第1講義棟 201講義室, 202講義室, 203講義室, 204講義室

場所	午前の部（10:00~12:00）	午後の部（13:00~15:00）
201講義室	第1分科会	第5分科会（~16:00）
202講義室	第2分科会	第6分科会
203講義室	第3分科会	第7分科会
204講義室	第4分科会	第8分科会

午前の部（10:00~12:00）

第1分科会（於：201講義室）

	報告ゼミ	報告タイトル	報告要旨
第1発表	地域経済論ゼミ	スマートシティと地域経済 ～ 会津若松地域を例に ～	リーマンショックや世界金融危機に伴う長期的不況の中2011年に発生した東日本大震災は、原発事故を発端としたエネルギー問題の発生に加え、経済や人々の生活に大きな影響を及ぼした。本論文では、会津若松市で行われているスマートシティ政策を中心に、国内外の他事例とも比較しながら、日本におけるエネルギー政策の課題や伝統的な垂直的国土構造・産業構造の解決といった観点から、地域の自立的な発展が可能かどうかを検証する。
第2発表	地方財政論ゼミ	のくといまちづくり ～ 合併から10年、 高山市の現在 ～	この論文では岐阜県高山市について取り上げる。岐阜県高山市は2005年に平成の大合併に伴い、10地域の合併を行い、市面積が東京都とほぼ同じになった合併事例である。その合併から10年経過した現在の高山市について、第一部では財政とまちづくり、第二部では人口減少対策、第三部では雇用、産業、ブランド推進についてそれぞれ論じていく。そして、高山市の今後の展望について考えていく。

第2分科会（於：202講義室）

	報告ゼミ	報告タイトル	報告要旨
第1発表	経営管理論ゼミ	コンビニの明日 ～ 24h 寄り添う 存在として ～	現代日本では人口減少、高齢化、都市への人口集中などの問題を抱え、社会は次々と変化している。その中で近年小売業界の業績は伸び悩んでいる一方、コンビニは店舗数や売上を着々と増加させている。これからコンビニは小売業界を先導する存在としてどうあるべきか、そして人々の身近な存在として社会の問題にどう立ち向かうべきか…私たち一人一人が社会の一員としてコンビニが担うべき役割を考えてみたい。
第2発表	財務会計論ゼミ	コマツが導く明日の日本 ～ CSR 活動が 安定経営を支える ～	現在、日本の多くの企業が海外に進出している。石川を代表するコマツは建機業界で国内市場1位、世界市場2位であり、CSR(企業の社会的責任)ランキングでは総合5位に輝き、特に人材雇用部門では高い評価を得た。この雇用環境における高い評価と安定した企業業績にどのような関連があるか、またどのようにしてグローバル企業であり続けられるのか、その秘密を財務諸表や企業理念、CSR報告書など多くの観点から分析した。

第3分科会 (於：203講義室)

	報告ゼミ	報告タイトル	報告要旨
第1発表	金融制度論ゼミ	仮想通貨の将来性 ～ビットコインを 中心として～	本報告は、仮想通貨とその先駆けで現在最も流通しているビットコインの実態を明らかにした上で、ビットコインなど仮想通貨の将来像はどのように描けるのかについて検討することを目的としている。本報告では、仮想通貨が法定通貨や電子マネーとどのように異なるのか、ビットコインが国際的にどれほど流通しているのか、ビットコインの流通のしくみ、ビットコインのメリット(意義)とデメリット(問題点)、ビットコインに対する各国の向き合い方、そしてビットコインなど仮想通貨の将来性を取り扱う。
第2発表	金融経済論ゼミ	生産性上昇における 金融為替の役割	私たちの金融経済論ゼミは、生産性が低い産業から生産性が高い産業への移動を促す要因を金融と為替に焦点を当てて分析します。具体的にはRodrick(2009)の論文を先行研究とし、労働者数や産業ごとの付加価値のデータからグラフを作成し傾向を導き出します。分析する国は日本、アメリカ、韓国の3カ国で、それぞれを比較し結論を導きます。

第4分科会 (於：204講義室)

	報告ゼミ	報告タイトル	報告要旨
第1発表	生活経済論ゼミ	日本のひとり親家庭の 経済状況と 子どもへの影響	ひとり親家庭の親の経済状況と子どもの教育環境(学習と居場所)について、実態と支援策を紹介し、ひとり親家庭の貧困の連鎖を断ち切れるかという観点から、現在の支援策の問題点を明らかにする。実際、国と地方自治体―特に金沢市・京都市―を比較し、海外の施策も参考にしながら、ひとり親家庭に必要な支援策および支援の地域間格差について、考察し論じていく。
第2発表	健康福祉論ゼミ	障がいのある子どもと 無い子供の交流をはかる ～ 共同事業を通して マネジメントを実践的に学ぶ ～	地域課題、特に障がい者余暇支援に注目しPDCAサイクルの観点からその解決を題材とした事業の企画・運営を行った。その取り組みの概要と考察について発表する。

午後の部 (13:00～15:00 / 13:00～16:00)

第5分科会（於：201講義室） 13:00～16:00

	報告ゼミ	報告タイトル	報告要旨
第1発表	社会言語学ゼミ	映画ポスターの 日英差 － 認知言語学の 観点から －	日本語らしい日本語、英語らしい英語があるように、邦画らしい邦画ポスター、洋画(アメリカ映画)らしい洋画ポスターがあるのではないかとこの仮説を検証するために日英の映画ポスターを比較する。
第2発表	国際公共経済論ゼミ	国際世論の形成過程に関する一考察 ～ プロパガンダ・大衆の善意・暴力 ～	近年、大衆はメディアの情報をもとに様々な国際問題について価値判断を下すようになった。大衆の価値判断の集積として形成される国際世論は、大国による紛争介入を正当化する根拠として機能してきた。では、国際世論はどのようにして形成されるのか。本研究では、湾岸戦争やボスニア紛争などの事例を通して「価値の体系」と「情報操作」が国際世論を形成していく過程を明らかにした上で、現代国際社会の構造的問題を指摘する。
第3発表	国際金融論ゼミ	アジア・アメリカ・ヨーロッパにおける 国際金融の最前線 －中国のバブル コントロール・ 米金融規制のダイナミズム・ 新時代のEU 経済通貨同盟－	サブプライム危機後のアメリカにおける金融規制政策を概観し、考察する。金融危機を繰り返さないための望ましい規制体系の在り方を探る。/世界金融危機と欧州債務危機の原因を考察し、危機克服に向けて現在欧州が抱える問題にどう取り組むべきか、EMU 深化に向けた政策指針を行う。/中国における経済構造戦略の変遷を不動産バブルの視点から考察する。経済成長と資産バブルのジレンマから抜け出すために中国は何をすべきか。

第6分科会（於：202講義室）

	報告ゼミ	報告タイトル	報告要旨
第1発表	社会保障論ゼミ	地域包括ケアを 考える	今日、日本では高齢化が急速に進んでいる。それに伴い、医療、介護、福祉などの需要が増え続けている。日本では高齢化と同時に少子化も進んでおり、それらの担い手が少なくなることが予測されている。そこで注目されているのが「地域包括ケアシステム」である。「地域」で生活する人々を支える「地域包括ケアシステム」の現状と課題をまとめ、実際に進んだ取り組みをしている「地域」の経験をもとに、これからのあり方を提起する。
第2発表	社会政策論ゼミ	ワーキング・プア ～ 背景・現状・対策 ～	少子化・貧困といった社会問題を生み出すワーキングプアが年々増加しているという現状を改善するにはどうしたらいいかという問題意識のもと、ワーキングプアが生まれた背景・ワーキングプアの代表である非正規雇用者数の変化・ワーキングプアに対しての日本や世界の対策という3点に焦点を当て分析し、そこから今後ワーキングプアに対してどのような対策をとっていくのが良いのかを考察した。

第7分科会（於：203講義室）

	報告ゼミ	報告タイトル	報告要旨
第1発表	現代経済理論ゼミ	株式会社から協同組合企業への移行の可能性	マルクスは、資本主義から未来社会への移行の最終段階の組織形態として株式会社を位置づけた。マルクスが理想とするのは、個人の自発的な労働が結びつき、人間と自然の関係がゆたかに発展していく社会である。本研究では、マルクス以降の資本主義論・株式会社論および最近の協同組合組織に関する議論をフォローしながら、株式会社から協同組合企業への移行の可能性と協同組合企業のあり方と意義について検討する。
第2発表	財政学ゼミ	再生可能エネルギーと地域の活性化	本論文では現在注目度が高い再エネ事業を、地域活性化に繋がられないかという発想のもと、主に福島県に焦点を当てて考察した。結論として、地域住民主体の地域内循環構造を構築し、外来的な力とのバランスも考えたネオ内発的な発展を意識することで、数値に現れる経済面での活性化、ひいては豊かな地域コミュニティの創出といった、数値では表せない地域活性化にも繋がるのではないだろうか結論づけた。

第8分科会（於：204講義室）

	報告ゼミ	報告タイトル	報告要旨
第1発表	経済統計学ゼミ	統計で読みとく野球	統計と聞くと敬遠したいと思う方が多いと思いますが、今回の報告では分析対象を野球にしたことで多くの人が親しみやすい内容になっています。さらに、ゼミ全体で1つの事柄でなく個人個人が野球に関する別々の事柄を分析することで、分析結果を出すまでのさまざまなアプローチを見せることが可能となっております。着目点の違いによって様々な手法が生まれる統計学の面白さを広めることができれば幸いです。
第2発表	情報科学ゼミ	日経ストックリーグの中間報告	日経ストックリーグという株式投資学習プログラムに参加し、投資テーマを決め、500万円分のポートフォリオを構築することにより、経済や株式投資の基礎や重要性を学んでいる。2グループに分かれ、テーマはそれぞれ「高齢化と電子機器の結びつき」、「新幹線開業地域の企業の応援」と設定した。それぞれの観点から統計学の手法を用いて、企業をスクリーニングにかけ、投資する企業を決定し、ポートフォリオを作成した。